

(1) 目的: AD/HD などのある子どもの行動を理解し、行動療法に基づく効果的な対処法を学び、話し合っ、練習して、よりよい親子関係づくりと子どもの適応行動の増加を目指します。

(2) 本プログラムの基本的考え方と進め方:

親自身が子どもにとっての「最良の理解者・サポーター」になるため、別紙 A の予定表にそつて、各回テーマに沿って学習・話し合い・練習を行い、ホームワークとして自宅でも実践します。ステップバイステップで進行していきますので、毎回のセッションの最初に前回の H.W.報告を行い、達成度を深めて、次のテーマに進んでいきます。

セッション参加は親の方だけですが、親子タイムやトークンシステム等 H.W.を自宅で行うことで、子どもも一緒にがんばることになります。行動療法の理論に基づいて行動観察と子ども理解によって、よい注目(ほめる)と限界設定(ペナルティ)を上手に、一貫性を持って与えていくことで、子どもに指示が通りやすくなり、親子関係の安定化と子どもの適応行動の増加がみられてきます。さらに、親のストレスの軽減、子どものセルフエスティームの向上などもみられることがこれまでのグループからわかっています。また、参加メンバー同士で、共感しあい、励ましあい、お互いに高めあっていくというサポート機能もみられるようになってきます。

なお、子どもの行動や態度がただちによくなるものではないことをご承知おきください。

(3) 参加するための約束事:

セッションの進行上、毎回参加が原則です。また、グループで行いますので、遅刻も厳禁です。家庭での練習が最も大切ですので、H.W.は必ずやってください。なお、他の家族(父親など)にもこの会で習ったことを伝え、協力してもらいましょう。

(4) 参加にあたってご了承ください:

グループ全体の訓練効果を高め、その効果をメンバー個々に応じた形でフィードバックするためにはより客観的な状況把握と訓練効果判定が必要です。そのため、訓練前後でアンケートや行動・心理面の評価尺度へのご協力をお願いしています。また、各回のセッションをスタッフ間で検討して、より良い形への工夫を試みていくために、セッションの録画を行うことがあります。(外部で用いることはありません)。ご了承のほどお願いします。

なお、このプログラムは奈良教育大学特別支援教育研究センターの教育・研修・研究をかねた地域貢献事業として行なわれますので、若干名の大学生・院生等がスタッフとして参加します。スタッフは現役の教員と教員の卵など子どもにかかわる専門家です。教育現場等でこのようなペアレント・トレーニング参加の皆様のがんばりとその効果を体験した専門家が活躍していくために、ご理解とご協力をお願いします。また学外からの見学希望者がある時は事前にメンバー全員の了解を確認します。

もちろん、セッション中の話の内容や調査結果などについてはプライバシーを厳守しますし、個人が特定されるような形で研究・研修報告されることは一切ありません。参加される皆さんも他のメンバーのプライバシーへの十分な配慮をお願いします。

(5) 費用、その他:

特別支援教育研究センターの事業ですので、大学の規定により 1回につき2000円自己負担があります。また、第1回にお配りする参考図書(「ADHD へのペアレント・トレーニングガイドブック」じほう、岩坂ら著)と最終修了式のおやつ代も各自実費負担となります。

グループで進行していきますので、楽しく安心できる雰囲気大切です。どうぞリラックスして参加してください。